

平成 30 年 おおいゆめの里観察会（冬） 当日の様子 12 月 8 日



今日の観察会テーマは「冬越し」。サクラの木の洞にどんな生きものが冬越ししているか観察する。



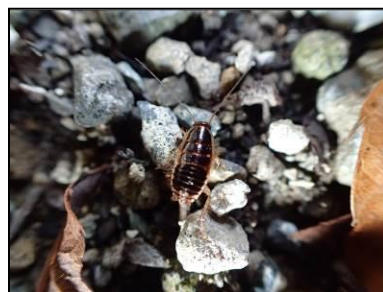
ヨコヅナサシカメムシの幼虫



枯葉の下にはワラジム



枯葉の下には、ゴキブリの仲間が潜んでいた。





農村公園では、イノシシが餌を探したあとが生々しい。



近くの草原からヒメツチハンミョウが見つかった。毒液を出すので素手で触るのは厳禁。枝で刺激したら、黄色い毒液を分泌した。



枯れた木の材を壊していくと、中からミミズや古いコカマキリの卵のうが現れた。





イタヤカエデの実を見てみよう。どんな形をしているかな。



落葉が浮いていると思ったら、クモの糸につながっていた。



「こもれびの森」で、枯れた丸太の生きものを観察。ダンゴムシが越冬中。





道なき道を探検するのも普段はなかなかできないので、みんなワクワク。もちろん安全確保も。



クリ林では、どんな冬越しが見つかるかな。枝先には、ウスタビガの空になったまゆ。



左：クリオオアブラムシの親と卵
中：ムネアカハラビロカマキリ卵のう
右：ドクガ？の幼虫



観察したことをもとに、新聞を作った。